

体験学習型所沢農産物PRイベント

平成28年5月1日(日)、2日前に行われた新茶まつりとはうってかわって晴天のなか、里芋の植付けが行われました(山下元齊氏圃場)。今年で2度目の開催となるこのイベントは、一般公募による参加者が5月に里芋の植付けを行い、12月に育てた里芋を参加者自らが収穫を行うものです。

今回は里芋の植付けの他に、山加園(粕谷栄三氏茶園)にて新茶の茶摘み体験と試飲をしました。また、お昼にはJAいるま野所沢女性部富岡支部の協力のもと、所沢産農産物をふんだんに使ったうどんやてんぷらを食べました。最後は直売所で所沢産農産物のお買い物を楽しみました。

参加者には、里芋の生育状況の写真を毎月一度、メールで配信しています(右下写真を参照)。冬には里芋の掘り取りのほか、イチゴ狩りを行う予定です。



↑ふかふかした畑の土の感触も醍醐味の一つ。
←山下氏の指導に熱心に耳を傾ける参加者。

ニンジン収穫体験参加者募集!

12月頃にニンジンの収穫体験イベントを実施し、こちらも所沢産農産物の試食などを行います。11月広報にて詳細を告知しますので、土に親しむ貴重な機会として、ふるってご応募ください。



↑5月1日。植付け直後。 ↑6月1日。芽が出た。 ↑7月1日。大きく成長。

速報!! 祝! 4Hクラブ2年連続全国出場!!

平成28年7月20日(水)、「関東ブロック農村青少年(4H)クラブプロジェクト実績発表会」において、所沢市4Hクラブ(西海陽介氏、栗原寛氏、町田弘貴氏)の「芋名月に向けた里芋の提案」の発表が優秀賞を受賞し、2年連続で全国大会への出場を決めました。このプロジェクトは、特産の里芋を、通常より早い9月中旬から収穫して販売するため、中秋の名月の別名である芋名月にちなんでPRし、消費拡大に取り組んだものです。2月28日に行われる全国大会での活躍に期待がかかります。

所沢市4Hクラブとは?

所沢市内で農業を営む18歳から30歳の農業後継者たちによる、農業技術の向上や地域農業の振興への寄与などを目的とした組織。夏と冬の農産物発表会やふれあいイベントにも積極的に参加。

市民の皆様へお願いです

市民の方から農薬使用や休耕地から発生する土ほこりなどに関するご意見をいただいております。農薬は、農産物の病気・害虫防除において有効な手段であり、安全な資材として使用できるよう厳しい使用制限があります。休耕地(作物を栽培していない畑)は、連作障害(同じ畑で連続して作ると障害の出る作物がある)の対策など野菜生産に必要なものです。また、住まいの近くに農耕地があることで、地場産の新鮮でおいしい野菜を食卓に届けることができません。農業者の方も、近隣にお住まいの方に影響を及ぼさないよう配慮して農作業をされていますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

農業者の方は、近隣への最大限の配慮と細心の注意をもって作業にあたられるよう、重ねてお願いいたします。

